

令和2年度 第3回 石垣市地域創生推進会議 議事録

1. 開催概要

日時	令和3年2月26日(金) 13:30~15:30
場所	結い心センター1階第1・2研修室
次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 報告 <ol style="list-style-type: none"> (1) 前回会議の議事について (2) パブリックコメントについて 3. 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 基本目標及び主な施策の修正並びにKPIの設定について 4. 事務連絡 5. 閉会
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次第 ・ 資料1：令和2年度第2回石垣市地域創生推進会議議事録 ・ 資料2：第2回会議における質疑・意見の整理表 ・ 資料3：第2期石垣市地域創生総合戦略に係るパブリックコメント一覧表 ・ 資料4：基本目標及び主な施策のKPI検討資料 ・ 資料5：第2期石垣市地域創生総合戦略（抜粋）【修正内容説明用】 ・ 資料6：第2期石垣市地域創生総合戦略（案）
出席者	<p>委員長 知念修 八重山市立保育園連盟園長会 会長</p> <p>副委員長 宮良永秀 元八重山教育事務所長</p> <p>石垣信治 沖縄県農業協同組合八重山地区本部本部長</p> <p>新里裕樹 一般社団法人八重山青年会議所 理事長</p> <p>前川義統 石垣市商工会 事務局長</p> <p>前村司 沖縄振興開発金融公庫八重山支店 支店長</p> <p>※西仲野委員（観光交流協会）は、欠席</p>
出席者 (事務局)	<p>慶田城悟 石垣市役所企画政策課 地域創生係 係長</p> <p>與世田亮太 " " 主任</p> <p>小野耕輔 玉野総合コンサルタント(株) (総合戦略策定支援業務受託者)</p> <p>前田亘輝 "</p>

2. 報告

(1) 前回会議の議事について（質疑応答） 13:35～

委員長	質疑・意見の対応表 No10 について、確認であるが、企業版ふるさと納税の活用のため設定し、また、全体的に設定するという意味合いであるということによいか。
事務局	そうである。

(2) パブリックコメントについて（質疑応答） 13:45～

全委員	特になし。
-----	-------

3. 議事

(1) 基本目標及び主な施策の修正並びに KPI の設定について（質疑応答） 13:55～

■基本目標 1

委員	市民所得の目標設定は難しいと思うが、有効求人倍率のみでは目標の達成状況を確認しづらい。市民所得を KPI に設定することも可能なのか。
事務局	市民所得を KPI として設定することは可能と考えるが、目標設定が難しい。所得に関する将来計画を市として持っていない。
委員	定めるのが難しいにせよ、数値目標があるとわくわくすると思う。
委員長	市民所得については、本市より竹富町の方が高い。例えば、県内市町村の順位などで設定できないか。目標の一つの目安になると思う。指標として設定可能なのか、持ち帰って検討してほしい。
委員	基本目標の KPI である有効求人倍率の目標値は、1.61 と基準値より低い目標とするのか。
事務局	基準値の 1.61 (R1) は過去最高の数値である。過去 3 年間の平均値は 1.61 で、現在は 1.0 を切っている状況である。担当課と調整のうえ、過去 3 年間の平均値を目標と設定した。
委員	主要施策 (1) の KPI である入域観光客消費推計額の目標値設定の考え方が異なっている点が気になる。
事務局	担当課と検討を行う。
委員	主要施策 (2) の KPI について、本市で取引額の最も高い素牛が代表という考えでもよいかと思うが、農業すべての売り上げの合計値でもよいかと思う。
事務局	担当課と確認を行う。
委員長	農業センサスで数値が示されているのではないか。国の資料に基づく数値を使用した方がよい。牛以外の農業従事者もいるため、全体的な数値を目標とした方がよい。素牛だけでもよいが、誤解を与える可能性があ

	る。
委員	県の農林水産業の統計資料にも載っていると思う。
事務局	確認する。
委員	主要施策（3）のKPI設定については、「多彩な人材」という目標に対しては、インターンシップ、障害者雇用、再雇用などの考え方もあるのではないか。
委員	市にて資格取得講座等を無料で行っているのか。
事務局	教員採用試験、保育士の試験については、塾と提携して講座を設けている。
委員	多彩な人材の育成について、未来を担う若者ということで「多彩な」は非常に幅広いとらえ方になっている。「多様な」でもよいと考える。
事務局	ご指摘のとおり、「多様な」に修正したい。
委員長	主要施策（4）について、KPIがないと目標がないと捉えられかねない。案として提案のあったゴルフ場誘致についてKPIとして設定した方がよいと思う。
委員	パブリックコメントにて博物館の建設に関する意見も上がっている。
事務局	博物館はすでにある施設なので、新たなコンテンツにはならないと考えている。ゴルフ場については新たなコンテンツとして捉えている。
委員長	チャンピオンコースという文言は必要なのか。
事務局	資料は、説明事項として入れているが、本編では記載しないことを想定している。
委員	公認コースなど本格的なものという意味ではないか。
事務局	そういう意味合いと思うが、表現の仕方を検討したい。
委員長	チャンピオンコースは、県内でもわずかしかないので、特別なものとなる。表現としては、公認コースでもよいと思う。
委員	新たなコンテンツ創出は民間が行うものと思うので、KPIの設定は難しいと思うが、ゴルフ場については未来投資促進法など、これまで市がバックアップした実績等をKPIにすることも考えられる。
委員長	沖縄公庫での支援はあるのか。
委員	要請があれば考えられる。
委員	博物館については、こどもたちが見て回るような場所もほしい。また、雨天時にも活用できる。観光コースとして博物館を活用できないか。
委員長	主要施策（4）の本文中で文言の追加を検討してほしい。
事務局	雨天時やシーズンオフでの活用など、本文の追加について、検討したい。

■基本目標2

委員	日本全体が人口減少の中、社会増減の目標値がプラスマイナス0でいいのか。
事務局	人口ビジョンの目標設定と同じ考え方としている。人口ビジョンでは、2060年までの長期スパンで見ている。本市の社会増減は年度ごとに増減を繰り返しており、自然増でそれをカバーしている。本市は離島であり、若い世代の流出もあるため、社会増を大きくプラスにすることは難しいと考えている。
委員長	合計特殊出生率ほどの程度か。
事務局	平成30年時点で1.92である。
委員長	社会増減はあまり当てにならない。本当は増加にしたいが難しい。
委員	文言だけみると基準値がベースであり、目標はそこからどれだけ上げるとみえてしまう。
委員長	目標値として、プラスマイナス0よりもプラスにしたいという思いだと考える。目標値を増加とすることができないか、検討してほしい。
委員	現在の目標値は令和元年度よりも51人減らすように見える。
事務局	人口ビジョンの目標と整合させて設定している。
委員長	人口ビジョンの目標はそのままでよい。目標値として見せる場合は、基準値よりもプラスにするような目標がよいと考える。
委員長	主要施策(2)の市史に関する書籍の83冊とは。
事務局	これまでの累計の数値となっている。担当課では令和6年度までに3冊追加を計画しており、それを目標値としている。
委員	市史をこれほど発刊しているのか。
事務局	色々な種類があるなかで、市が発刊しているものの合計が83冊である。
委員長	シリーズも含めているのか。また、写真集なども含まれているのか。
事務局	シリーズについては含め、写真集などは含まれていないと記憶している。
委員	これらの書籍は図書館にあるのか。Web上でも確認できるのか。
事務局	担当課では所有しているが、公表しているかどうかは確認していない。過去に発刊しているが、増刷に至っていないものもある。図書館には置いていると聞いている。
委員	何年間で83冊発行なのか。
事務局	詳しくは把握していないが、1年1冊ではないと思う。複数冊発刊している年もある。
委員	主要施策(3)の相談業務はどのようなものを想定しているか。
事務局	オンラインの移住定住相談会や体験ツアーを始めている。また、過疎地域への移住を進めたいと考えており、北部地域のイベント等への参加な

	ども併せて進めていきたいと考えている。北部地域の特色や魅力をまとめて、過疎化している地域の紹介ができるような資料を積極的に提供していきたい。さらに、働き手が不足している職業に対して、職業体験等を通じて、移住・定住を進めていきたい考えである。
委員	Iターン者向けの住居等の整備はないのか。
事務局	現状、ハード面での展開は考えていない。民間の事業者と連携できればと考えている。
委員	促進したことで人が増えたのか。勝手に増えている印象もある。敢えて推進する必要があるのか。
事務局	人気・知名度もあることから増えている側面もある。行政で支援し、体験等もしてもらうことで、移住から定住につなげていきたいと考えており、相談業務を続けていく必要があると考える。特に不足している人材、過疎地域に移住・定住してもらえよう行政がバックアップしていく取組みを進めたいと考えている。
委員長	主要施策（3）の目標値はどのように設定しているのか。
事務局	過去3年間の平均値を採用している。
委員長	市町村魅力度ランキングについては、全国順位であることが分かるようにした方がよいと考える。
事務局	承知した。
委員長	インバウンド数について、国内航路で来る人はカウントしていないのか。
事務局	国際航路やクルーズ船については集計可能であるが、国内空路で来た人は集計ができない。
委員長	那覇経由でクルーズ船が来た場合もカウントしているのか。
事務局	クルーズ船は、経由しても集計が可能である。
宮良委員	数としてはどうなのか。
事務局	増加を続けていたが、コロナの影響で減っている。特に、クルーズ船は戻るまでに時間がかかると考えている。令和6年度までに戻していきたいと考えている。
委員	プロスポーツキャンプなどの観光客は把握できるのか。
事務局	担当部署で把握しているものもあると思うが、今回の指標にはしていない。
委員	誘致活動などもしているのか。新たな観光コンテンツの一つに誘致活動もあるのではないのか。
事務局	検討したい。

■基本目標3

委員長	合計特殊出生率は、第1期からの継続と思うが、2.47の数値はハードルが高くないか。
事務局	第1期の市民アンケートの結果をもとに、ハードルは高いが市民の思いふまえ、目指すべき目標として設定している。
委員長	現在ほどの程度の数値になっているか。
事務局	直近の数値は出ておらず、平成30年度の数値が最新である。
委員長	この数値のように、基本目標2のKPIである社会増減の目標値もプラスとしてはどうか。
事務局	人口ビジョンは、長期的な視点で設定したものであるもので、5年で変えるものではないと考えている。
委員長	算出根拠を教えてください。
事務局	市民アンケートの結果をもとに算出している。
委員	主要施策(1)の結婚組数はわかりやすいが、石垣市のみの数値ではないため、システムの改善を含め検討してほしい。
委員長	将来的な提言として、受け止めてほしい。
委員	素晴らしい目標値と思う。JAでも取り組んだことがある。若い人が元気になることが大事である。そういう機会も継続して取り組んでほしい。
委員長	主要施策(3)の待機児童数の目標年度が令和6年度は遅いと思う。県では令和2年度末も目標としている。本市でも令和3年度末を目標としてはどうか。
事務局	担当課と調整を行う。
委員	女性の正規雇用率については、宮古島市が算出しているため、本市でも算出可能か確認した方が良い。
事務局	宮古島市にも確認し、検討する。
委員長	確認した結果、数値が出せるのであれば修正も検討してほしい。

■基本目標4

委員	P41では横断的目標、P48では基本目標4となっている。
事務局	P41を「基本目標4（横断的目標）」として、記載したい。
委員	GIGAスクールの推進は、今年度中に実施するのか。スマートフォン普及率などもKPIとなるか。
事務局	検討する。
委員長	主要施策(2)のマイナンバーカードの普及率は、比較的高い数値であるのか。
事務局	1月末時点で24%を超えている。県内では上位で、全国平均と同程度で

	ある。
委員長	交付というのは、カードの交付ということでよいか。
事務局	カードとして、申請して発行した数値である。今後、行政手続きを簡素化できるようになる。
委員長	マイナンバーカードの重要性・必要性が市民に伝わっていないのではないか。普及活動を進めてほしい。
委員長	主要施策(3)について、観光客用の防災備蓄品について、3日分になっているのは、そういうニーズがあるのか。
事務局	全国的に3日分の準備が望ましいとされている。
委員	基本目標1の主要施策(1)の指標について、うるま市で設定している「立地企業数」の数値が目標にも沿い、いいのではないか。
事務局	持ち帰り検討したい。
委員長	主要施策(4)について、ふるさと納税と企業版ふるさと納税の違いはなにか。
事務局	ふるさと納税は所得税控除や返礼品が受け取れる。企業版は寄付額の9割が税額控除されるが、返礼品はない。企業にとっては、イメージアップ等のメリットがある。
委員長	石垣市の企業は、石垣市には寄付できないのか。
事務局	個人の場合も、企業の場合も、居住・所在している自治体にはできないこととなっている。
委員	個人では最低金額などが設定されているのか。
事務局	自治体によって少額から幅広い金額が取り扱われている。
委員長	目標値14億円は何を根拠としたのか。
事務局	各自治体の規模に応じて設定額の枠が定められており、本市において設定できる上限額が14億円であり、それを目標値としている。

■とりまとめ

委員長	意見を踏まえ、事務局にてとりまとめを行ってほしい。
事務局	今回の意見を踏まえ市長へ答申する総合戦略(案)のとりまとめを行う。とりまとめた内容の確認は、知念委員長に一任して確認いただくこととしたい。また、3月中には市長への答申を行い、最終的な総合戦略として定めたい。策定に向けた本委員会は今回をもって終了とする。次年度以降は、目標値の達成状況について、検証を行うことを考えているので、ぜひご協力をいただきたい。
全委員	了承する。

以上